

小倉戦争地図及び小倉戦争図 部分  
(個人蔵・当館寄託)



晋作が臨んだ  
最後の戦い

下関市立東行記念館常設企画展



丙寅丸御用旗  
(東行庵蔵・当館寄託)

# 海軍総督 高杉晋作

9月15日(火)→12月13日(日)



瓢  
(当館蔵)

下関市立東行記念館

山口県下関市大字吉田1184番地

【電話番号】083-284-0212

【開館時間】9:30~17:00(最終入館16:30)

【休館日】毎週月曜日(9月21日・10月12日・11月23日は開館)・祝日の翌平日

【観覧料】一般300円(240円)・大学生等200円(160円)

※( )内は20名以上の団体料金

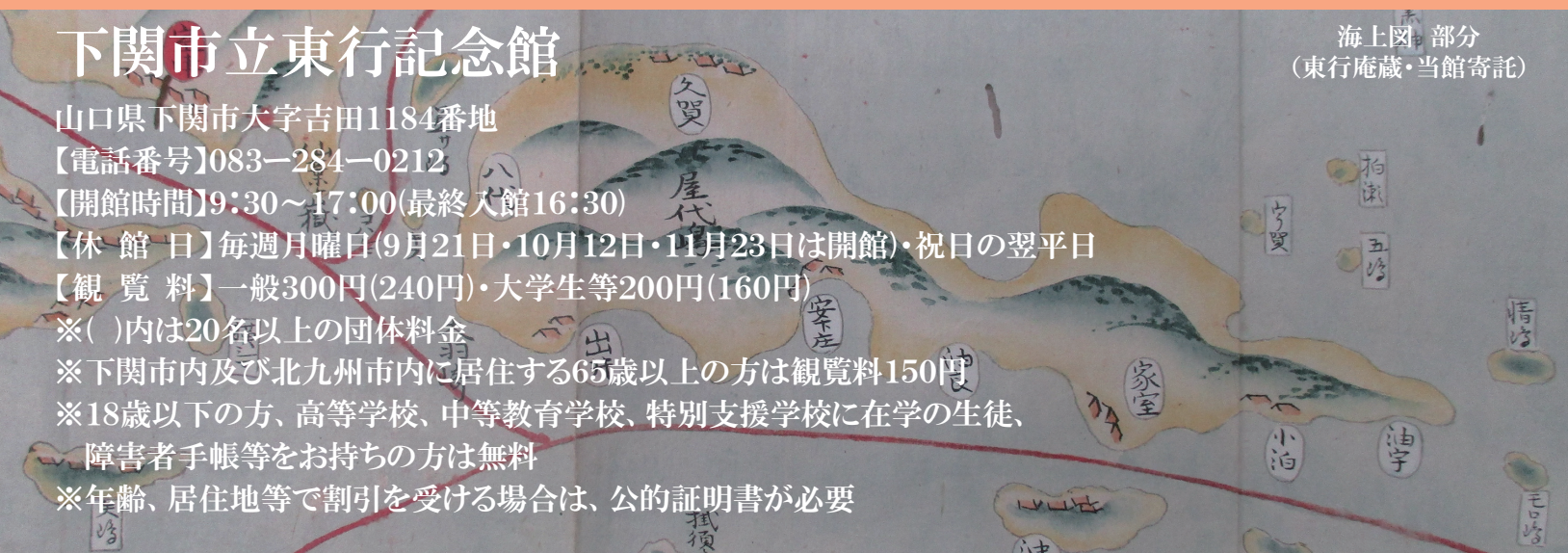
※下関市内及び北九州市内に居住する65歳以上の方は観覧料150円

※18歳以下の方、高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在学の生徒、

障害者手帳等をお持ちの方は無料

※年齢、居住地等で割引を受ける場合は、公的証明書が必要

海上図 部分  
(東行庵蔵・当館寄託)



下関市立東行記念館常設企画展

## 海軍総督 高杉晋作

長州藩と幕府との間で勃発し、幕末史のターニングポイントとなった幕長戦争。開戦に先立ち、海軍総督に就任していた高杉晋作は、大島口及び小倉口の戦いに参戦します。

幕府海軍の艦砲射撃を受けて応戦を決断した長州藩は、晋作に大島への出動を沙汰しました。晋作は萩藩軍艦丙寅丸に乗り込み、大島口で幕府軍艦を攻撃したのちに下関へ向かいます。

小倉口において、晋作は長州藩軍の総指揮を担っていた奇兵隊総督山内梅三郎を補佐し、門司・田野浦の戦いでは海軍を指揮して小倉藩の営舎を砲撃しました。戦いが続くなか、体調に異変を感じた晋作は戦線から離れますが、戦いは長州藩軍優位のうちに講和が成立し、終結に向かうことになります。

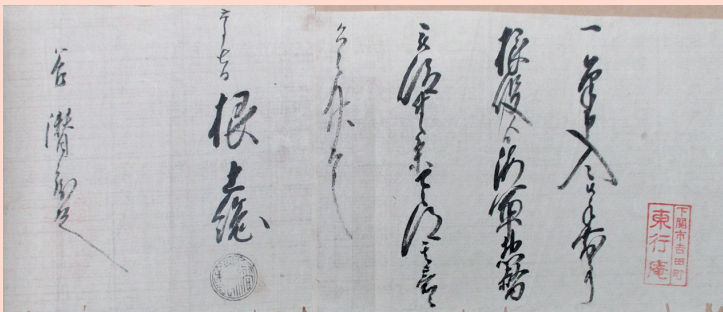
本展では、海軍総督として戦いに臨んだ高杉晋作について紹介します。

## 海軍総督を務めた高杉晋作の肖像画



高杉晋作画像  
(東行庵蔵・当館寄託)

## 萩藩政府が晋作を海軍総督に任命した沙汰書



萩藩政府沙汰書  
(当館蔵)

## 戦場となった北九州の地図と戦いの様子



小倉戦争地図及び小倉戦争図 部分  
(個人蔵・当館寄託)

おすすめ資料は、晋作が萩藩政府より海軍総督に仰せ付けられた萩藩政府沙汰書です。幕長戦争時、晋作は藩政府より海軍総督や馬関口海陸軍参謀に仰せ付けられ、大島口及び小倉口方面の長州藩軍の指揮を執りました。  
この機会に、ぜひご覧ください！



学芸員 久保慎一郎

### 交通のご案内

**公共交通機関でお越しの方**  
JR小月駅から美祢駅・湯谷・吉田方面行のバスに乗車(約15分)  
JR下関駅から美祢駅・湯谷・吉田方面行のバスに乗車(約50分)

**バス停**  
「東行庵入口」で下車(徒歩10分)  
「東行庵前」で下車(徒歩5分)

**お車でお越しの方**  
小月ICより5～10分  
美祢西ICより10～15分

